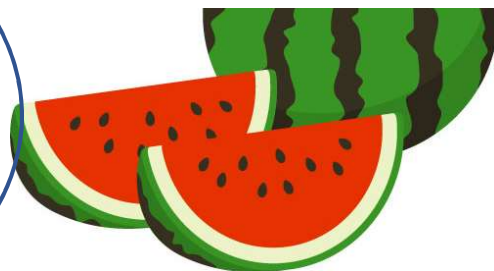


AOI

七沢リハビリ



暑さが日ごとに加わり、蝉の声も届き始める季節になりました。院長はじめ医師、職員一同新しい試みにも積極的に取り組んでおります。

医療法人社団葵会

AOI七沢リハビリテーション病院 広報誌

第3号（令和元年7月1日発行）

NEWS

①タウンニュース（厚木・愛川・清川版）に当院記事が掲載されました

令和元年5月24日及に当院記事が掲載されました。



②AJCスタートアップミーティングに当院向医師と石渡医師が参加しました

令和元年5月30日に「葵会人工関節センター（AJC）スタートアップミーティング」が、ジョンソン・エンド・ジョンソン東京サイエンスセンター（川崎）にて行われ、当院の整形外科 向・石渡両医師が参加しました。



各部署からのお知らせ

◎山野上 昭光（リハビリテーション科）



2019年4月、私もこの七沢に参りました。

リハビリテーションとのご縁はC大→K大→T大教授のT. T先生が脳梗塞となり、回復期訓練時の車椅子介助などに参加した弟子の一人として始まりました。ググって頂ければ『独酌余滴』の中に『太郎冠者』と出ているのが私です。

T先生が『君にはスキル、スタミナの外科は無理だし、サイレンス、サイエンスの研究的内科も無理だから、平凡な学生を育てるのが大好きな先生方を紹介してあげよう』と言って下さり、T県D大学のリハビリ科関連のE. F先生、F・T先生のもとで4年少々ご指導を受けました。高級なことは無理ですが、私自身5回の骨折歴があり、骨折関連の処方先輩からも、患者さんからも喜ばれたり安心されたりしたことがあります。『唯脳論』の著者のY. T先生の『2週間以上体内に残存する薬品は熟慮して使うべき』という指導を忘れずに、両親や自分に使うならコレという処方を、内服もリハビリテーションも目指していきたいと思います。

◎山田 亜沙（入退院支援看護師）



今年の4月より、入退院支援看護師として地域連携室に配属になりました。患者様やご家族様のご希望を伺い、入院前のご面談や転院前にご入院先に訪問し、当院での入院生活が少しでもイメージできるよう支援しています。

また、ご入院後は退院後の生活が円滑に行えるよう、医療ソーシャルワーカーと連携し、社会福祉サービスなどの情報提供を行い、地域のケアマネージャーやサービス事業所と連携し退院調整を行っています。

ご自宅への復帰が難しい方へは、なるべくご希望に沿う施設をご紹介できるよう支援しています。入院前より、患者様やご家族様に寄り添い、身体的・社会的背景を理解した上で、皆様のご不安に対応できるよう努めています。「誰に相談して良いか分からない」と悩まれた時には、いつでも地域連携室にお立ち寄り下さい。お電話でも構いませんので、いつでもお待ちしております。

◎栄養科



今年の5月より新しい仲間が増え、栄養科は管理栄養士2名となりました。栄養科では、口から食べる喜びを感じられるお食事の提供を目指して、厨房委託職員と共に様々な取り組みをしております。

季節の移り変わりや旬の食材をお楽しみいただけるよう、お正月やひな祭り・七夕・ハロウィン・クリスマス等、年間約12回程度、メッセージカードを添えた行事食の提供や、飲み込みが困難な方にも患者様が召し上がりやすいよう、一口大やキザミ、ペーストといった食形態をご用意しております。

入院後は、他職種協力のもとスクリーニングを行い、1週間以内に全ての患者様の栄養管理計画書を作成します。

個別で栄養量の設定を行い、患者様一人ひとりに合わせたお食事をご提供します。

また、外部勉強会等へ参加し日々研鑽を積み、常に+αのサービスの提供を心掛けています。

栄養科一同、1日でも早い回復に向け、お手伝いをさせていただければと思いますので、宜しくお願い致します。

行事食（例）

3月春分の日



10月ハロウィン



医療法人社団葵会

AOI七沢リハビリテーション病院

〒243-0121

神奈川県厚木市七沢 1304

電話：046-402-5511（代表）